

1. 概要/目的/方法

1) 概要

本手順書は、DVstick30 と BlueDV for Windows を組み合わせた利用手順を記載しています。

2) 目的

DVMEGA が無線機を利用したマイノードと呼ばれているのに対して、DVstick30 は dongle タイプと呼ばれており、BlueDV for Windows と組み合わせることでリフレクターに接続することを目的としています。

3) BlueDV for Windows の特徴

- ① 最新のリフレクターリストをメニューから入手(ダウンロード)が可能です。
- ② マイノードや dongle に加えて、AMBEServer との組み合わせが可能です。
- ③ XRF ではモジュール A～Z まで利用することができます。
- ④ バージョンアップが頻繁に行われており、常に進化しているソフトウェアです。

4) 重要

DVstick30 と BlueDV for Windows を組み合わせて利用する場合は、BlueDV for Windows のバージョンは「[1.0.0.9458](#)」以上である必要がありますので、ご注意ください。

2. 必要なもの(ハードウェア)

- 1) Windows パソコン (インターネットに接続されていること)
- 2) パソコンに接続するヘッドセット
- 3) DVstick30™ (以下の URL から購入できます)

http://www.combitronics.nl/index.php?route=product/product&path=61&product_id=103

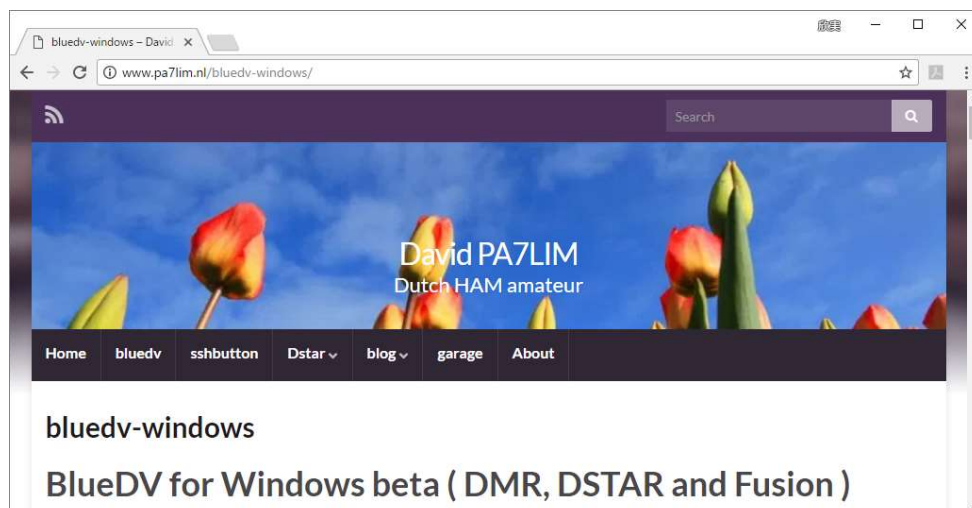
3. 作業概要

- 1) BlueDV for Windows のインストール
- 2) BlueDV for Windows のセットアップ
- 3) DVstick30 と BlueDV for Windows を組み合わせ時の操作方法
- 4) 最新ホストファイルのダウンロード

4. 作業手順 (BlueDV for Windows 設定編)

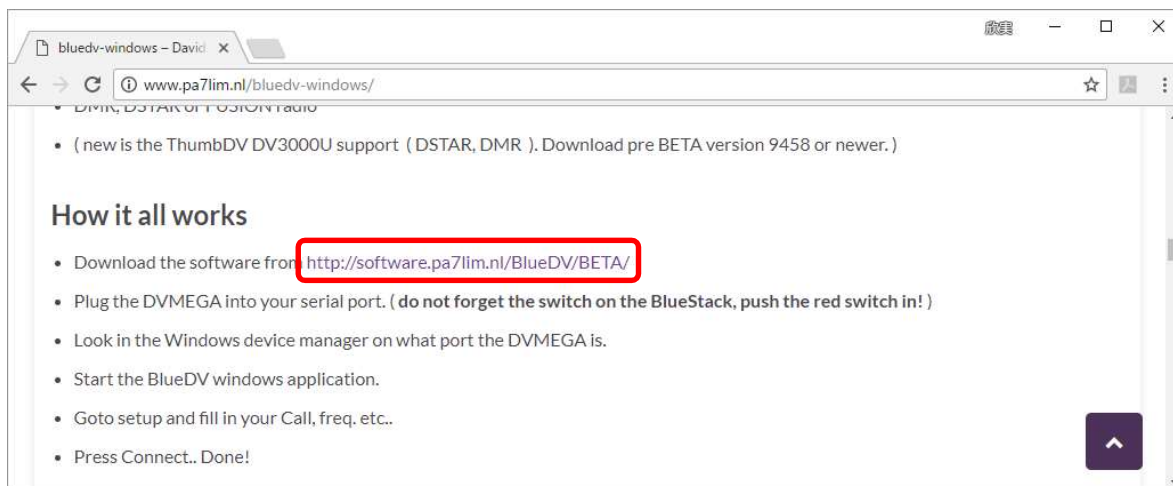
- 1) パソコンのブラウザを利用して、下記のアドレスにアクセスします。

<http://www.pa7lim.nl/bluedv-windows/>



2) 1)の画面をスクロールして、下記のアドレスにアクセスします。

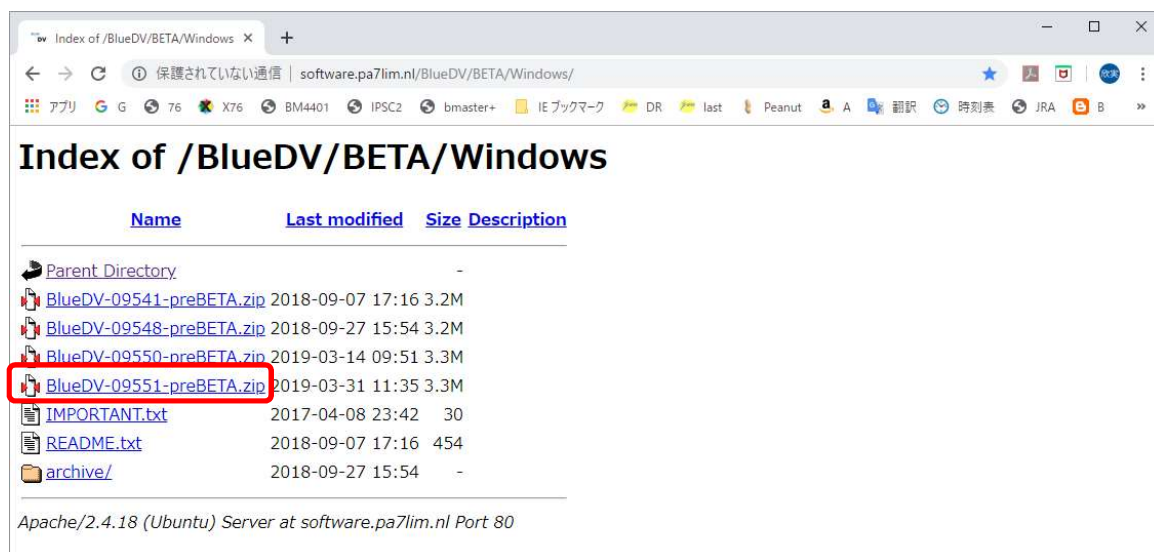
<http://software.pa7lim.nl/BlueDV/BETA/>



3) Windows フォルダを選択します。



4) 下図は、09522 が最新の時の画面です。クリックしてパソコンにダウンロードします。

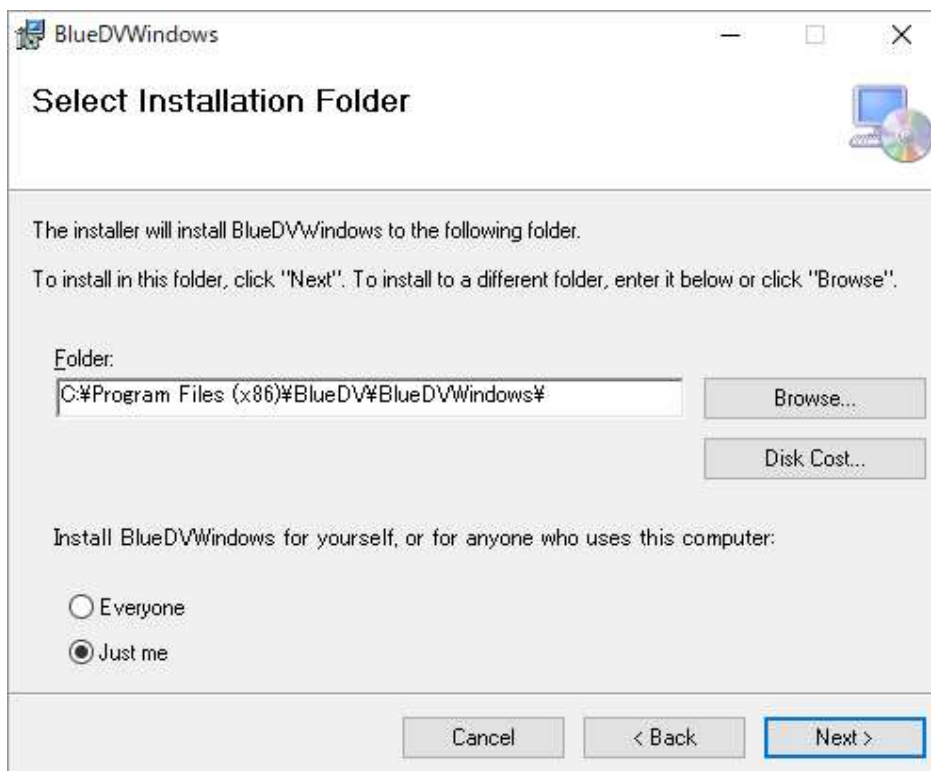
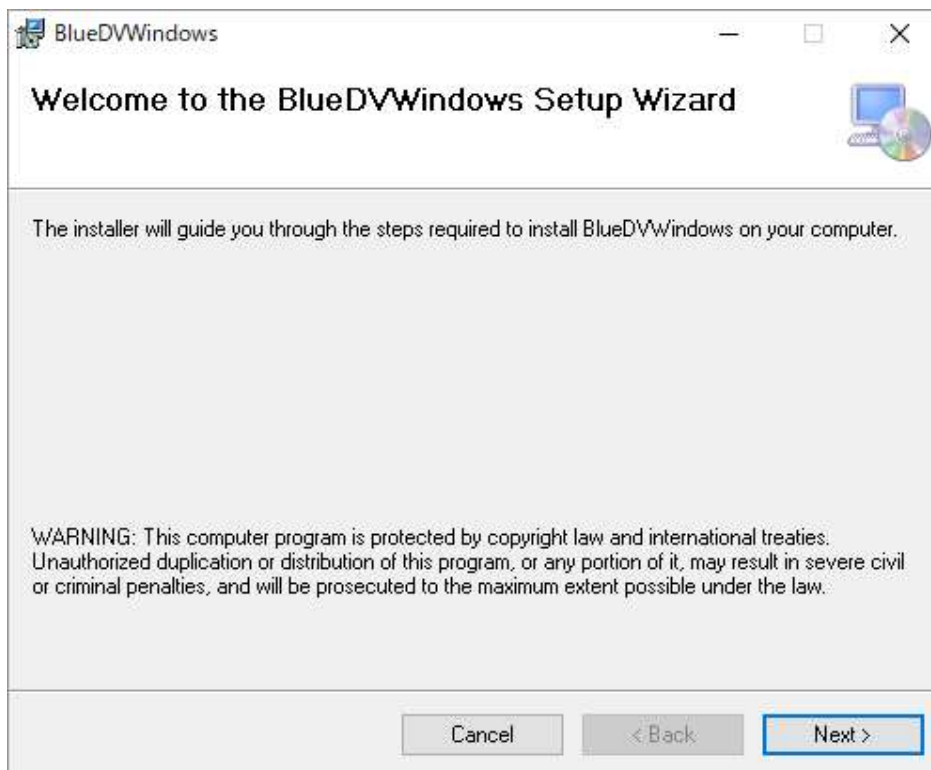


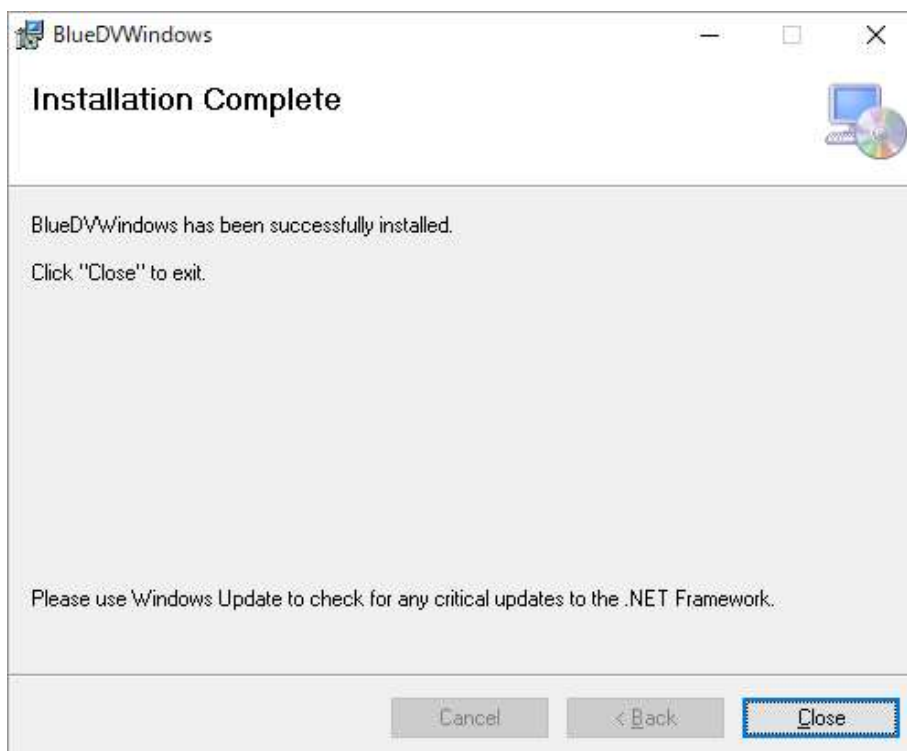
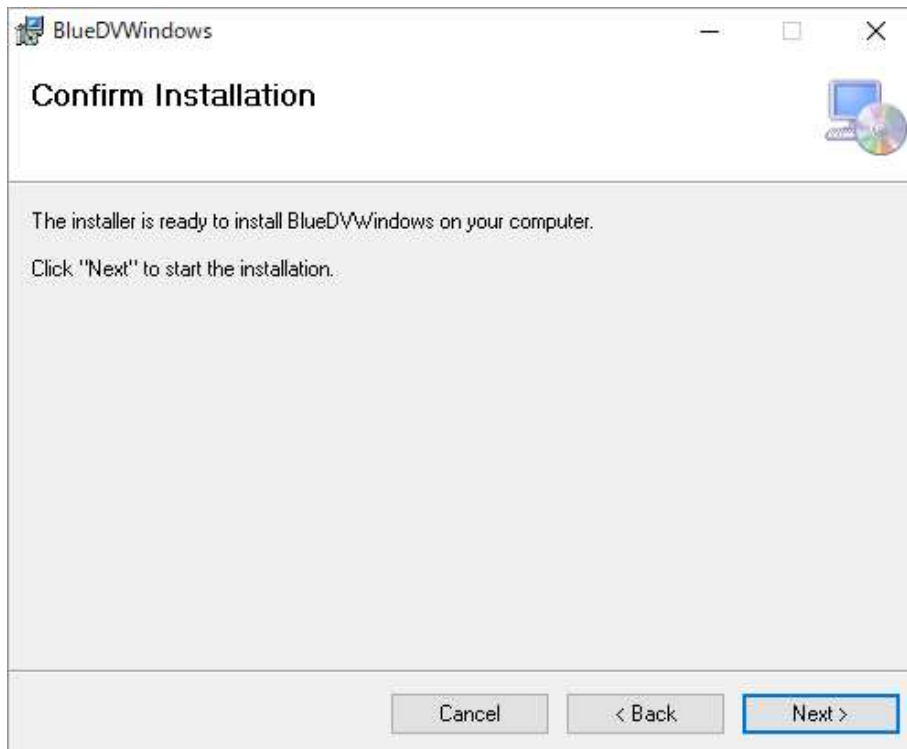
5) ダウンロードした Zip ファイルを解凍する。

解凍したファイル名 : BlueDV-09551-preBETA.msi

6) msi ファイルを実行してインストールを開始します。

既に BlueDV for Windows をインストールされている場合は設定を引き継いで上書きされます。

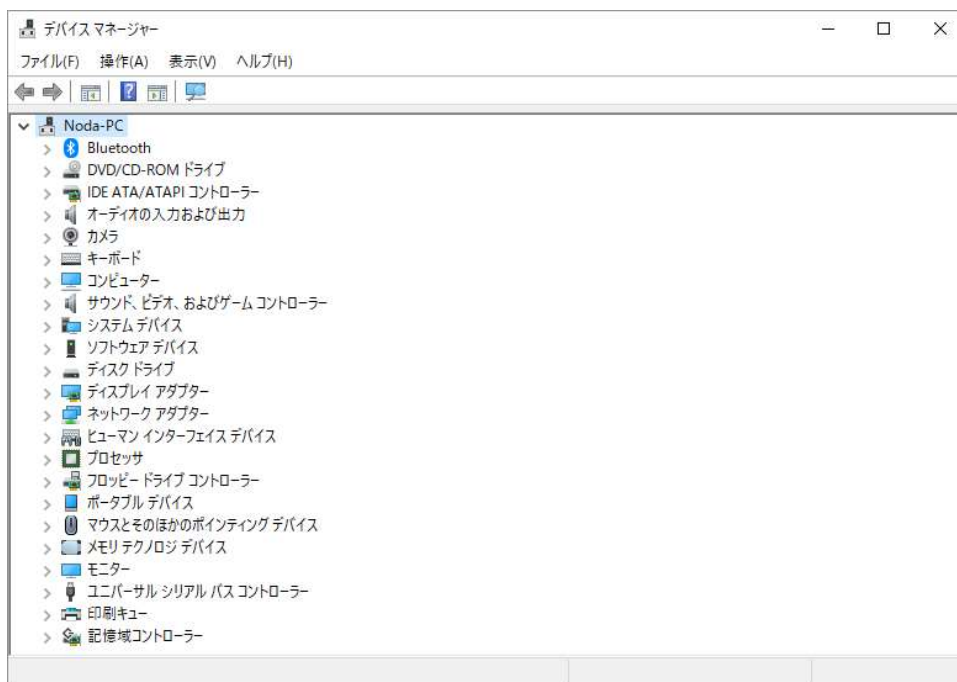




5. 作業手順 (BlueDV for Windows のセットアップ)

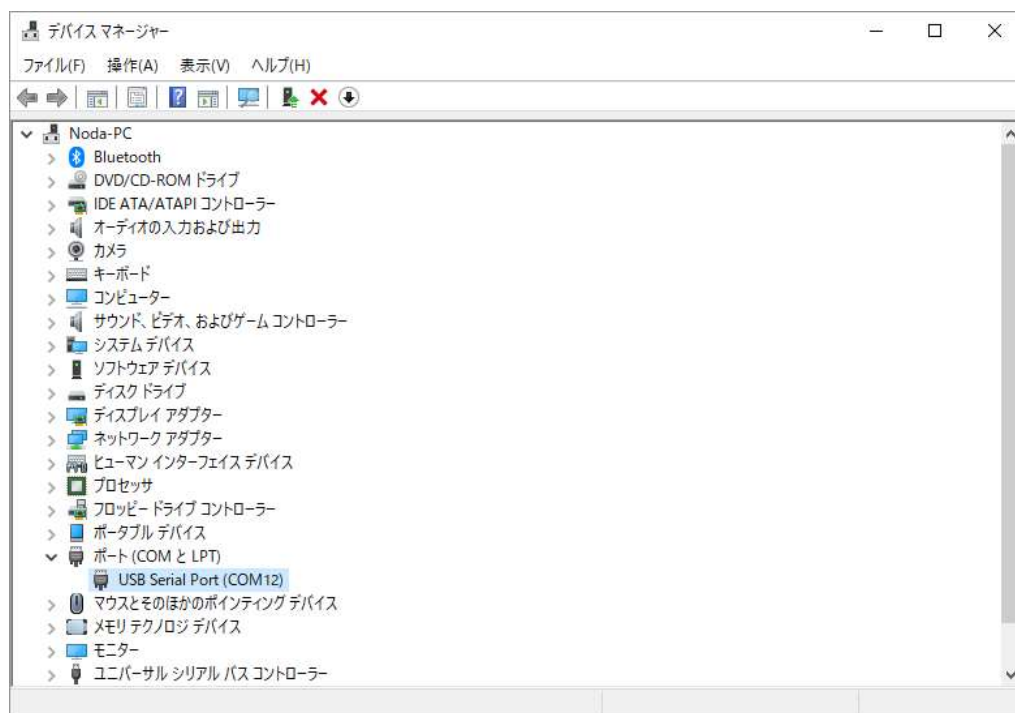
1) デバイスマネージャーを起動します。

- ① Windows の左下にある「スタート」アイコンで右クリックします。
- ② メニューリストから「デバイスマネージャー」を起動します。



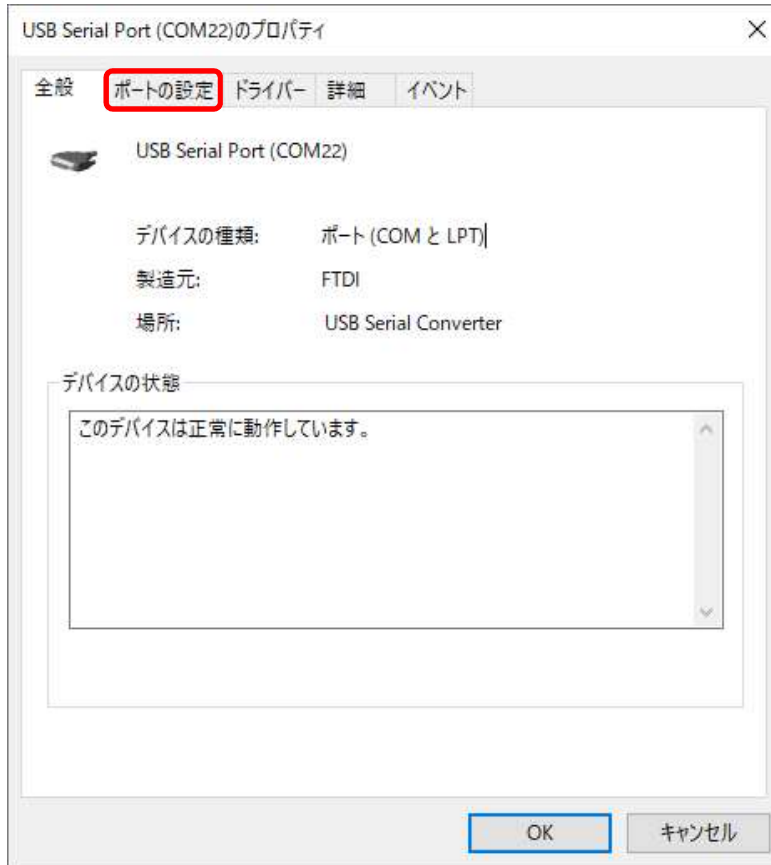
2) DVstick30 を USB ポートに差し込みます。

ポート (COM と LPT) に新規に現れた COM 番号を確認します。



3) 確認した COM ポート番号を右クリックします。

4) プロパティ画面の「ポート設定」タブを選択します。



5) ビット/秒に「460800」を設定します。



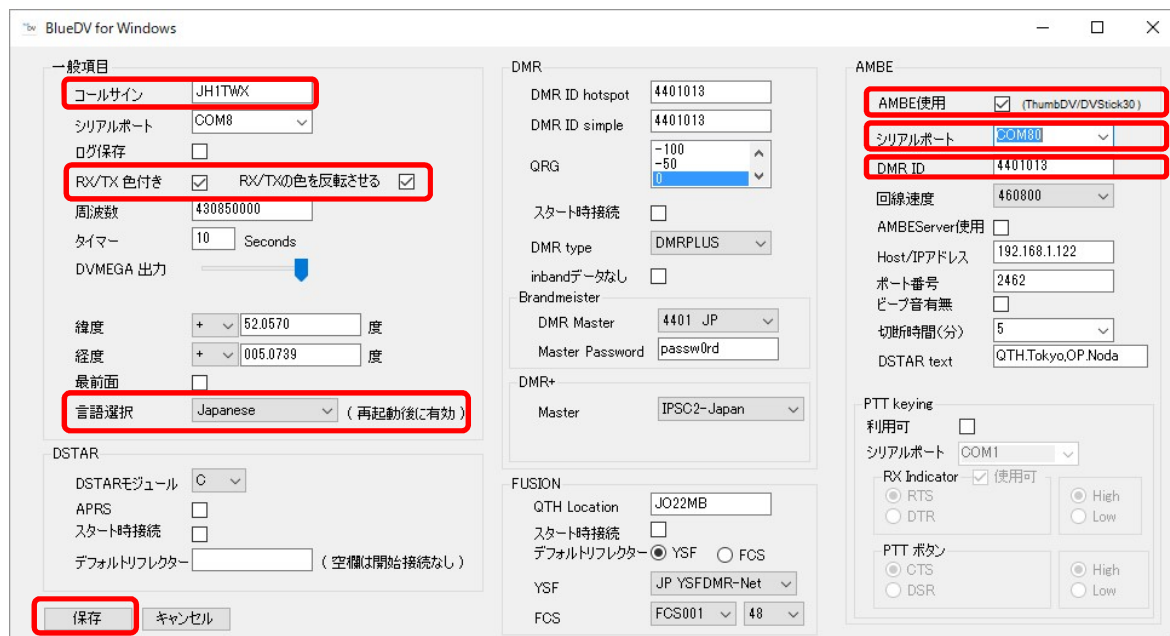
- 6) 「OK」をクリックして終了します。
- 7) デスクトップ画面にあるBlueDV for Windowsのアイコンをクリックして起動します。



- 8) 「メニュー」をクリックし「設定」を選択します。



- 9) 設定画面に必要な項目を設定します。



- ① Your Call に自分の個人コールサインを入力する。
- ② 「RX/TX 色付き」と「反転させる」にレ点を付けます。
- ③ 「言語選択」で「Japanese」を選択します。(再起動後に有効となります)
- ④ 設定画面右側の「AMBE 使用」にレ点を付けます。
- ⑤ 「シリアルポート」に前項で調べたCOMポート番号を選択します。

- ⑥ 「DMR ID」に自分の DMR IDを設定する。持っていない方は、8項をご覧ください。
- ⑦ 「回線速度」に「460800」を選択します。
- ⑧ 「保存」ボタンをクリックして設定を保存します。
- 10) 「シリアル」を右にスライドさせます。
ファームウェアに「AMBE 3000R」が表示されることを確認します。



【確認ポイント】

- <1> ポート番号が不一致していないか確認をします。
- <2> デバイスマネージャーのビット/秒が「460800」を確認します。
- <3> セットアップ画面の Serial port が「460800」を確認します。
- <4> BlueDV for Windows のバージョンは「1.0.0.9458」以上であることを確認します。

6. 作業手順 (DVstick30 と BlueDV for Windows を組み合わせ時の操作方法)

1) SERIAL を右にスライドさせます。



2) DSTAR を右にスライドさせます。



3) 「XRF」のクリックし、リフレクター番号「XRF076」とモジュール名「B」を選択します。



- 4) 「接続」ボタンをクリックして、リフレクターに接続させます。



- 5) 右下の「DMR」⇒「DSTAR」へ左にスライドさせます。



- 6) パソコンにヘッドセットをセットします。

- 7) 右下の「AMBE3000」をマウスでクリックして、送信状態にします。

送信中は画面が赤色に変わります。終話する時は再度クリックして受信状態にします。



8) 画面右側の「AMBE」タグをクリックして、mic や spk の Gain 調整が出来ます。



9) 「切断」をクリックして接続中のリフレクターを解除します。

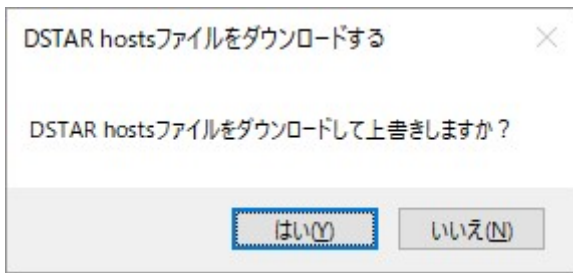


7. 作業手順（最新ホストファイルのダウンロード）

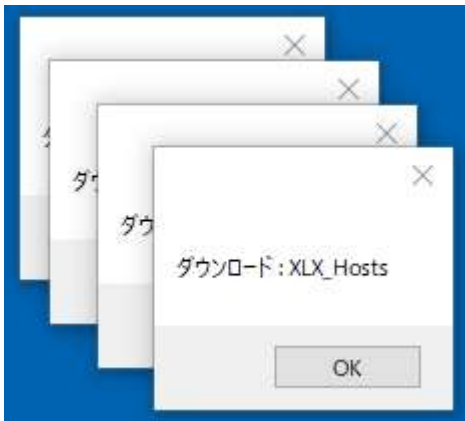
1) SERIAL を OFF の状態にしてから、メニューの「Update」をクリックします。



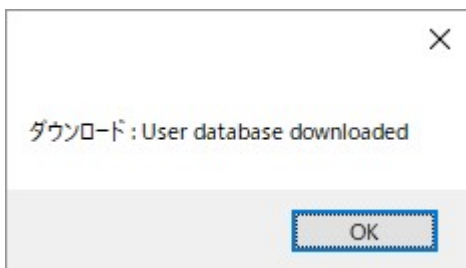
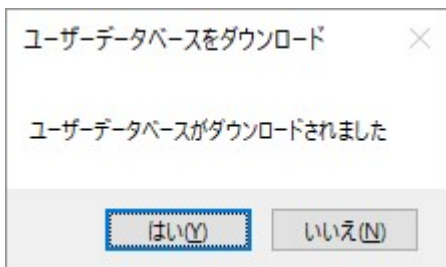
- 2) 「ダウンロードホストファイル」を選択し、画面の「はい(Y)」をクリックします。



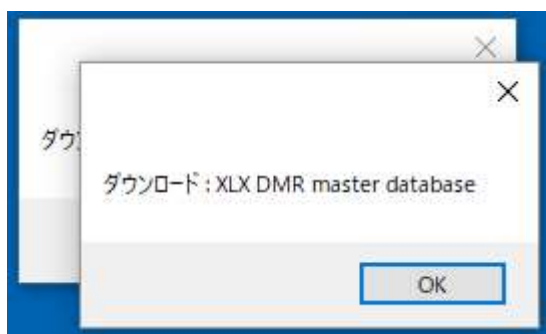
- 3) 最新の各種ホストファイルがダウンロードされます。



- 4) 続いて、「コールサインデータベース」を選択し、画面の「はい(Y)」をクリックします。



5) 続いて、「DMR マスターデータベース」を選択し、画面の「はい(Y)」をクリックします。



8. 参考

1) DMR-ID の登録について

BlueDV を利用するにあたり「DMR-ID」を登録しておくこと、BlueDV 画面に登録しているファーストネームが表示されます。登録手順は、下記の URL を参照してください。

http://xrf076.xreflector-jp.org/info/pdf/Z-01_DMR-ID_Registration_Manual.pdf

9. 改版履歴

1.0 版 2019年5月8日 ・初版作成

以上